

- ◎ 施工前にこの施工手順書をよくお読みになり、正しく施工してください。
- ◎ 製品の品質維持のため、高温環境下や雨が当たる場所での屋外保管は避けてください。
- ◎ 水はけの悪い場所への施工はあらかじめ路盤の改善を行ってください。
- ◎ 人工芝ロールは巻き芯の固定にホチキスを使用しています。現場での残存、取扱いにご注意ください。
- ◎ 生産ロットにより人工芝の色合いが多少異なる場合があります。長期在庫品との併用にご注意ください。
- ◎ ガラスに反射した太陽光の反射熱で人工芝が溶ける(熱変性を起こす)可能性があります。あらかじめ施工場所の安全性をご確認ください。
- ◎ 製品の性質上、人工芝は高温になると0.2～0.3%(\*10mで2～3cm)程度縮む可能性があります。
- ◎ 人工芝と防草シートを直接接着剤で貼る施工はシワの原因となる可能性があるため推奨していません。

## 土に施工する場合

### 手順1 整地

● 施工後の仕上がりは路盤の凹凸の影響を大きく受けます

- ① 雑草を除去してから30-0程度の碎石を約50mmの厚みで敷いて転圧してください。
- ② 約30mmの厚みで砂を敷き、転圧やトンボで不陸を調整して路盤を平らにしてください。

### 手順2 防草シートの敷設

● 人工芝の排水穴や繋ぎ目から雑草が生えるため敷設推奨

- ① 防草シートの固定ピンは1m間隔を目安に打ち込んでください。  
※ このとき防草シートにヨレやシワがあると人工芝の仕上がりに影響する場合があります。

### 手順3 人工芝の下準備

● 人工芝の繋ぎ目を美しく仕上げる大切な作業です

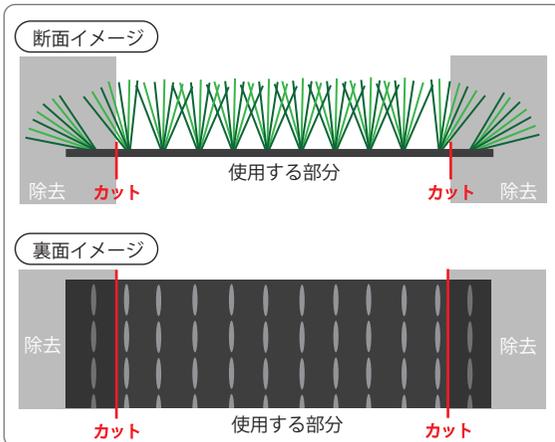
- ① 輸送の都合上、ロール状に巻かれた人工芝両端の縫い目はパイルが乱れている可能性がある為、両端の縫い目1～2列をカットし、廃棄することを推奨しています。このとき人工芝の幅は約2～4cm程度短くなりますので予めご注意ください。

※ 人工芝を裁断する際は、カッターナイフを用いて基本的に裏面からカットしてください。

※ ハサミを使用すると表面のパイルまで切れてしまいます。

※ カットの際は図の「使用する部分」の縫い目から2～3mmを目安にカットしてください。

- ② 人工芝ロールの巻き始めと巻き終わりのパイルが荒れている部分は使用せずに廃棄してください。  
※ 人工芝ロールの長手方向は廃棄する余分を見越して30～50cm程度長めに製造しています。



## 手順4-1 人工芝を「釘だけで」固定する場合

- ① 人工芝のパイル毛先の向きは、全ての人工芝の向きが全て同じ方向になるように仮敷きします。

### 人工芝ロールの向き



- \*1: パイル毛先の向きは必ず全て揃えてください
- \*2: 十字の繋ぎ目は剥がれやすく、目立ちます

### パイルの向き



人工芝の毛先は、主に鑑賞する方向に向いていると繋ぎ目が分かりにくく仕上がりが美しくなります

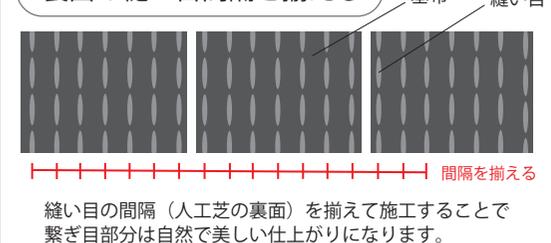
- ② 人工芝ロールを広げ、シワやたるみが無くなるまで十分に引っ張りながら施工してください。
- ③ 雨水枡や雨どい、植栽などの障害物に合わせて人工芝を丁寧にカットします。
- ④ 人工芝の繋ぎ目は、裏地の縫い目の間隔を一定に揃え、繋ぎ目をまたぐように釘を打ち込みます。
- ⑤ 外周部分や繋ぎ目部分に釘を打ち込み(目安50cm間隔)、人工芝を固定してください。  
※ 釘を打ち込む際は地中のガス管や配管など破損することがないようにご注意ください。  
※ 釘を打ち込む際は人工芝のパイルを巻き込まないように注意してください。  
※ 釘はつなぎ目部分でなくても、人工芝が浮いている箇所があれば打ち込んでください。

### シワを伸ばす



シワやたるみが生じないように、まず端部に釘を打ち込み、引っ張りながら施工してください。

### 裏面の縫い目間隔を揃える



## 手順4-2 人工芝を「ジョイントシート・接着剤・釘で」固定する場合

※ ジョイントシートは必ずしも必要ではありませんが、人工芝の繋ぎ目を末永く美しく維持するためにジョイントシートと接着剤の使用を推奨しています

- ① 「手順4-1 釘だけで固定する場合」の①～③と同様の要領で人工芝を仮敷きします。
- ② 仮置きした人工芝の繋ぎ目部分をめくり、防草シートの上にジョイントシートを敷き、接着剤を塗布します(5kg缶の接着剤1缶でジョイントシート2巻～3巻の使用量が目安です)。  
※ 人工芝のズレ防止のため、接着作業に影響のない部分に予め釘を打っておくことを推奨します。  
※ 接着剤の塗布量が多いと人工芝の排水穴から接着剤が出ることがあるため、クシ目ゴテを使用して接着剤を均一に伸ばして塗布してください。  
※ 貼り合わせを行う作業は2人で行うことを推奨します。

<< 裏面へつづく >>

- ③ 接着剤の待ち時間を厳守し、人工芝のジョイント部分を合わせながら丁寧に貼り合わせます。
- ④ 接着剤の乾燥具合を確認し、足踏みやローラーで転圧してください。
- ⑤ 「手順 4-1」と同様に、人工芝を引っ張りながら 50cm 間隔を目安に釘を打ち込んでください。  
※ 釘はつなぎ目以外にも、人工芝が浮いている箇所があれば打ち込んでください。

## 手順 5 最終確認・仕上げ

- ① 人工芝のパイルは製品温度が上昇すると起立します。気温の低い日や日差しが弱い天候の日は施工後でもパイルが倒伏したままの場合があります。天候の良い日が続けばパイルはある程度起立しますが、すぐにパイルを起立させたい場合は天候の良い日にデッキブラシを用いてパイルを起こしてください。
- ② 人工芝が浮いている箇所があるようでしたら釘を打ち込んでください。
- ③ 人工芝をカットした際に出たパイルのカスを掃除機やほうき、テープ等できれいに除去して完了です。

## 接着剤で施工する場合

※ 下地がベランダやアスファルト、コンクリートの場合

### 手順 1 下地処理

● 接着剤の使用方法・注意事項は製品をご確認ください

- ① 床面の掃除を入念に行ってください（砂利や埃が接着剤の密着を妨げる可能性があります）。  
※ 濡れた路盤での接着剤の使用は避けてください。  
※ 接着施工する際はあらかじめ将来人工芝を剥がすことも想定してください。  
※ 施工する下地へのダメージを最小限に抑えるために接着剤を使用せず「敷くだけ」の施工をする場合は、ジョイントシートと接着剤で全ての人工芝を裏面で繋ぎ、1枚のカーペット状にしてください。また、捲れやズレ、風で飛ばすなど重大な事故を防ぐために重しを置くなど現場に適した対策を必ず行ってください。

### 手順 2 人工芝の下準備

● 人工芝の繋ぎ目を美しく仕上げる大切な作業です

- ① 裏面「手順 3（人工芝の下準備）」と同様の作業を行ってください。

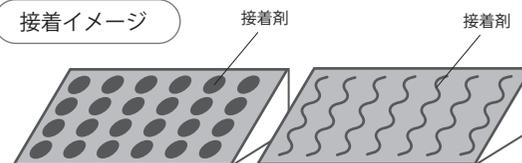
### 手順 3 人工芝の接着

● 透水性路盤への施工は 1.5 ～ 2 倍量の接着剤が必要です

- ① 裏面「手順 4」の施工方法を参考に、人工芝を現場状況に合わせてカットし、仮敷きします。
- ② 右上図を参考に路盤に接着剤を塗布して施工します（接着施工の場合、ジョイントシートは不要です）。  
※ 接着剤の使用量目安は、施工面積 10㎡に対し 5kg 缶接着剤を 1 缶使用してください。  
※ 接着剤の塗布量が多いと人工芝の排水穴から接着剤が出ることがあります。  
クシ目ゴテを使用して接着剤を均一に伸ばして塗布してください。  
※ 貼り合わせを行う作業は 2 人で行うことを推奨します。
- ③ 接着剤の待ち時間を厳守し、人工芝のジョイント部分を合わせながら丁寧に貼り合わせます。  
※ 接着剤が人工芝に付着した場合は、硬化してから取り除いてください。

- ④ 接着剤の乾燥具合を確認し、足踏みやローラーで転圧してください。
- ⑤ 養生期間は目安 1 日です。接着剤が完全に硬化していることを確認してください。

接着イメージ



路盤の水勾配を考慮し、人工芝と路盤の間に水が溜まらないように施工してください

接着剤 ディノグリップ 505

季節 (気温)	待ち時間	貼付可能時間
夏 (25 ~ 35°C)	5 ~ 10 分	30 ~ 40 分
春・秋 (15 ~ 25°C)	10 ~ 20 分	40 ~ 60 分
冬 (5 ~ 15°C)	10 ~ 30 分	40 ~ 60 分

## 手順 4 最終確認・仕上げ

- ① 人工芝のパイルは製品温度が上昇すると起立します。気温の日差しが弱い天候の日は施工後でもパイルが倒伏したままの場合があります。天候の良い日が続けばパイルはある程度起立しますが、すぐにパイルを起立させたい場合は天候の良い日にデッキブラシを用いてパイルを起こしてください。
- ② 人工芝をカットした際に出たパイルのカスを掃除機やほうき、テープ等できれいに除去して完了です。

## メンテナンス・取扱い注意事項

- ◎ ゴミや落ち葉の除去はホウキや掃除機、テープ等を用いて行ってください。
- ◎ ペットの糞尿等の掃除は水で薄めた中性洗剤をブラシで擦り、水で洗い流してください。
- ◎ 花火や BBQ など、人工芝の上では火気を使用しないでください。
- ◎ 人工芝は経年劣化により退色することがあります。
- ◎ 人工芝は材質の特性上、静電気が発生することがあります。水を撒くことで軽減できます。
- ◎ 静電気抑制機能とは、静電気の発生を抑制するもので、完全に除去する機能ではありません。
- ◎ 競技用人工芝（ゴムチップ入り）ではないため、スパイクシューズを履いての激しい運動はお控えください。滑りやすく大変危険です。人工芝にもダメージを与える可能性があります。
- ◎ 人工芝は製品ロットによって色幅が生じる場合があります。長期在庫品を同一現場でご使用の際は予めご注意ください。
- ◎ その他、製品に関する内容は「オンリーワンクラブ マテリアルカタログ」をご覧ください。